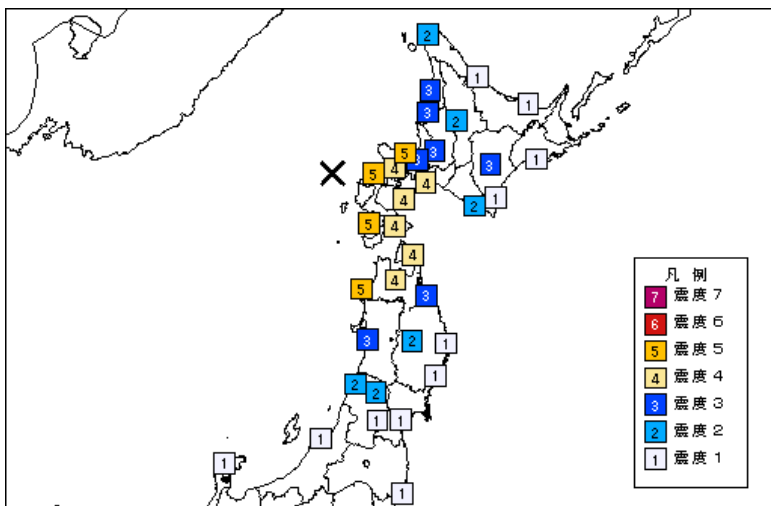
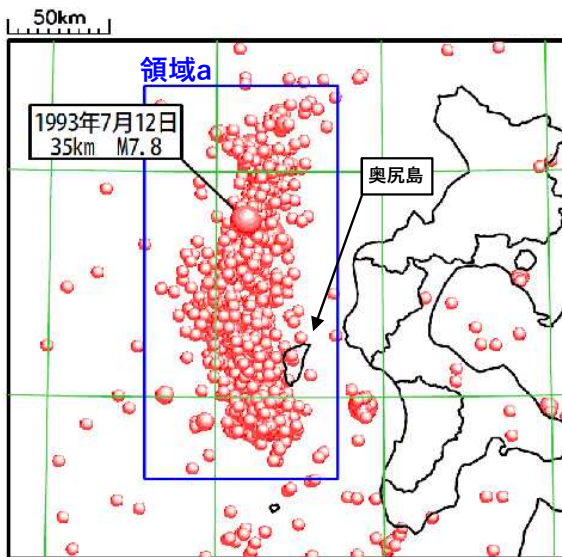


平成5年（1993年）北海道南西沖地震

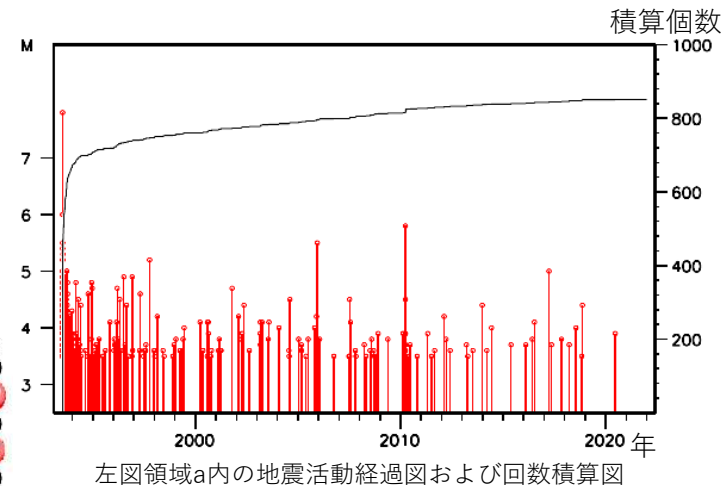


震度分布図



震央分布図

1993年7月1日～2021年12月31日
M3.5以上 深さは40km以浅



左図領域a内の地震活動経過図および回数積算図

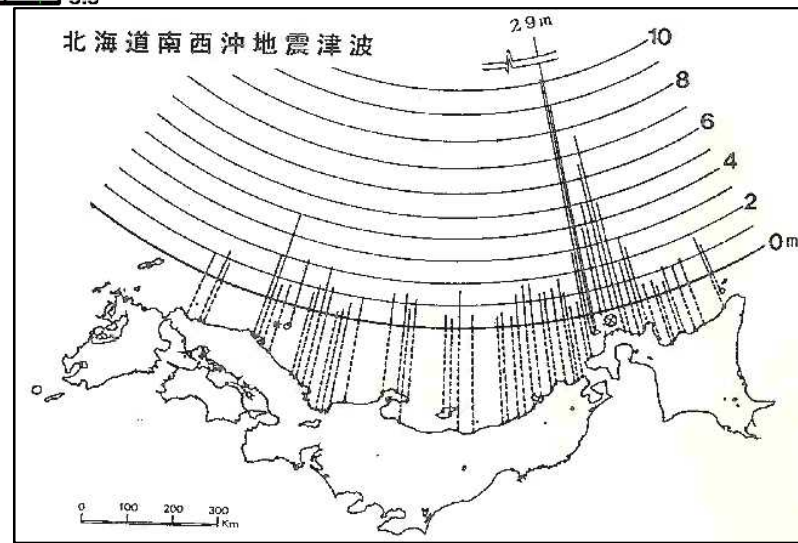
■地震の諸元 (気象庁カタログによる)
 発生年月日 平成5 (1993) 年7月12日
 震央 北海道南西沖
 マグニチュード 7.8
 深さ 35km
 北緯 42度46分 東経 139度10分

■被害 (全体) (気象庁技術報告より)
 死者 202人
 行方不明者 28人
 負傷者 323人
 住家全半壊 1,009棟

この地震の震源地に近い北海道の奥尻島では、がけ崩れ、住家の全半壊、公共施設の損害など著しい被害が生じ、多くの人命が失われた。また地震発生後大きな津波が発生し、北海道や東北地方の日本海側をはじめ、西日本や対岸のロシア、朝鮮半島にも押し寄せ大きな被害を与えた。特に北海道の奥尻島には、地震発生後数分で大津波が来襲し、その後発生した火災とともに被害をさらに甚大なものにした。

津波の高さは、現地調査によって奥尻島の藻内地区で津波の遡上高が29mに達したことがわかった。(気象庁技術報告より)

余震活動は、徐々に減衰してきている。



現地調査による津波の高さの分布図 (気象庁技術報告より)

平成5年（1993年）北海道南西沖地震

～大阪管区気象台管内での被害～

北海道南西沖地震による津波は地震発生の日未明、京都府から島根県までの日本海沿岸と隠岐島に押し寄せ、停泊していた漁船の転覆や家屋浸水、道路陥没等の被害が発生した。被害が大きかったのは島根県隠岐地方および島根半島東部、兵庫県次いで京都府の順になっている。

また、昭和58年日本海中部地震の津波で大きな被害が発生した島根県隠岐地方島後の東側（布施村および西郷町東海岸）では、今回は被害がなかった。これは、前回の津波による経験が生かされたことにもよるが、津波の進入方向が異なっていたことによると思われる。

	京都府	兵庫県	鳥取県	島根県
人的被害 (負傷者)				
建物被害 (床下浸水など)	14棟			約70棟
船舶被害 (破損、転覆など)	15隻	23隻	転覆、破損ありと報告されているが、数は不明。	約100隻

※人的被害は報告されていない。



船の転覆（島根県隠岐島後久見港、西郷測候所）



津波による浸水痕
(島根県八束郡美保関町、松江地方気象台)



転覆船の引き上げ作業
(島根県八束郡御津漁港、松江地方気象台)

気象庁技術報告による